

霞ヶ浦には、どんなプランクトンが多い？

～ 西浦と北浦のプランクトンでは、違いがあるかな ～

植物プランクトンや動物プランクトンは、目に見えないほど小さい生物ですが、霞ヶ浦の水質や生態系に大きな影響を与えていることが知られています。霞ヶ浦のプランクトンについて、西浦と北浦では、どんなプランクトンが多いのかを毎年度の調査結果から紹介します。

プランクトンとは「水中を漂う生物」のこと。植物と動物に分けられます。

植物プランクトン

光合成をするものを、植物プランクトンといいます。
霞ヶ浦には、350種類以上の植物プランクトンがいます。

<p>珪藻のなかま ケイ素を含む殻をもっています。その形から「中心目」と「羽状目」に分けられます。</p> <p>・中心目 ヒママルケイソウ属 アウラコセイラ属</p> <p>・羽状目 クチビルケイソウ属 ハリケイソウ属</p>	<p>藍藻(藍色細菌)のなかま アオコやカビ臭などで人間社会に悪影響を及ぼす種類もいます。</p> <p>・ユレモ目 プランクトスリックス属</p> <p>・クロオコックス目 マイクロステリス属</p>
<p>緑藻のなかま 種類が豊富で、様々な形のものがいます。</p> <p>ミカツキモ属 クンショウモ属</p>	<p>褐色鞭毛藻のなかま 大量発生することがあります。</p> <p>カゲヒゲムシ属</p>

動物プランクトン

光合成をしないものを、動物プランクトンといいます。
霞ヶ浦には、150種類以上の動物プランクトンがいます。

<p>繊毛虫のなかま 単細胞生物。繊毛で細菌などを捕食します。</p> <p>ツリガネムシ属 スナカラムシ属</p>	<p>ワムシのなかま 多細胞生物。植物プランクトンなどを食べます。</p> <p>カメノウワムシ属</p>	<p>節足動物のなかま 昆虫を含む大きなグループ。ミジンコのなかまなどがいます。</p> <p>ケンミジンコ属(幼生) ゴウミジンコ属</p>
---	--	--

霞ヶ浦には、どんなプランクトンが多い？

西浦(湖心)と北浦(釜谷沖)について、2024年度に計測されたプランクトンを年間で合計し、多い順に1～3番目までを示しました。植物プランクトンは、西浦ではアウラコセイラ プシラ群が、北浦ではハリケイソウが1位となっていました。西浦の2番目に、ラフィド藻が入っているのが特徴的です。(※ラフィド藻は、7月と11月に優占種となっていました。)
動物プランクトンは、西浦ではスナカラムシが、北浦ではフデツツカラムシが1位となっていました。

植物プランクトンは何が多い？(総細胞体積で比べた場合)

■ 西浦(湖心) (全 84種)			□ 北浦(釜谷沖) (全 84種)		
<p>No.1 <i>Aulacoseira pusilla</i> 群 アウラコセイラ プシラ群 14%</p>	<p>No.2 VACUOLARIACEAE ラフィド藻 13%</p> <p>※長さの異なる鞭毛が2本あります。</p>	<p>No.3 <i>Aulacoseira granulata</i> アウラコセイラ グラヌラータ 7%</p>	<p>No.1 <i>Synedra acus</i> ハリケイソウ 16%</p>	<p>No.2 <i>Aulacoseira granulata</i> アウラコセイラ グラヌラータ 11%</p>	<p>No.3 <i>Aulacoseira ambigua</i> アウラコセイラ アンビグア 10%</p> <p>※これは螺旋形ですが直線形のものもいます</p>

※ 珪藻のなかまのプランクトンについては、電子顕微鏡写真です。その他は、光学顕微鏡写真です。

動物プランクトンは何が多い？(個体数で比べてみた場合)

■ 西浦(湖心) (全 51種)			□ 北浦(釜谷沖) (全 48種)		
<p>No.1 <i>Tintinnopsis cratera</i> スナカラムシ 21%</p>	<p>No.2 <i>Polyarthra sp.</i> ハネウデワムシ 17%</p>	<p>No.3 <i>Synchaeta sp.</i> ドロワムシ 16%</p>	<p>No.1 <i>Tintinnidium sp.</i> フデツツカラムシ 19%</p>	<p>No.2 <i>Epistylis sp.</i> エダワカレツリガネムシ 15%</p> <p>※固定処理をした試料を観察しています。</p>	<p>No.3 <i>Keratella cochlearis</i> カメノウワムシ 12%</p>